



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第669号

2025年3月31日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「交通権」・「移動権」は基本的人権の一つです

八千代市の公共交通の状況は、北部地域と南部地域によって地域性の違いがあり、両地域とも公共交通の問題は深刻です。

公共施設循環バス「ぐるっと号」が13年前に廃止になり、八千代台地域のみコミュニティバスが運行されていますが、高津地域や勝田台地域などの住民から、「いつになったら市民の足が確保できるのか」との声が上がっています。

そのために市民は各地で学習会や署名活動を開始し、市長交渉も行なってきました。このような取り組みを通して、「八千代市の公共交通を考える会」を立ち上げ、積極的に活動しています。市民・国民が自由に行動できるようにする「交通権」・「移動権」は基本的人権であり、幸福追求権と同じです。

長寿で健康に生きるために地域公共交通は重要

身体活動（ウォーキング、水泳など）、文化活動（囲碁、生け花、書道等）、地域活動（ボランティア、町内会活動等）の3つの活動をしている人は、フレイル（加齢による心身の衰え）が、活動に参加していない人よりもフレイルリスクが16倍の差があることが医学的に分かっています。

高齢でも交通機関を利用して出かけて、文化活動や地域活動をすれば、元気になるので医療費があまりかかりません。「クロスセクターベネフィット」という観点で総合的に見ると経済効果が上がり、公共交通の拡充は自治体にとっては経済的好循環を生むのです。

もっと公共交通に財政の投入を

3月議会での日本共産党の質問に対し八千代市は、南部地域は「交通は一定程度発達した状況にあり、アクセスはおおむね可能」という認識ですが、アンケートでは「運行本数の改善」「運行時間帯の拡大」「行き先の改善」を3割もの人が求めています。

北部地域は「補完的移動手段の検討」を位置付けていますが、検討会議を立ち上げて、協議するので実現までにはさらに時間がかかります。

日本共産党市議団は、近隣市と比較しても予算が少ないので、その壁を打ち破って予算を確保し実現させることを求めました。

<近隣市のコミュバス運行状況>

	<運行ルート数>	<運賃>	<市の負担額>
八千代市	市内1コース	170円	846万円
佐倉市	市内5コース	200円	9164万円
鎌ヶ谷市	市内5コース	100円	7472万円
印西市	市内6コース	100円	1億1568万円
習志野市	市内5コース	160円~310円	6500万円

(R5/3/31現在 千葉県調べ)